

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	市民相談課長	内田 英人
経企-13 相談事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民相談課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針
		市民自治	市民自治

1 事業の目的

対象	市民等
意図	各個人の悩み・問題を解決するとともに、市民からの直接の意見・要望等を聴取し、行政に反映させるため。
効果	市民等が安心して生活ができるように支援するとともに、市民等の声を聴取し、それらを行政運営に反映させる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の問題解決を支援するための相談を実施した。</li> <li>法律・税務・登記等の専門家による特別相談を実施した。</li> <li>市政への意見・要望・提言等に対し、市政運営に反映できるように担当課と連絡・調整し、回答した。</li> </ul>
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	9,654	9,723	当初予算(千円)	10,082			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	9,654	9,723	一般財源	10,082			
事業運営	人員配置数	4.0	4.5	人員配置数	4.5			
	人件費(千円)	29,516	33,713	人件費(千円)	34,233			
	総事業費(千円)	39,170	43,436	総事業費(千円)	44,315			
	市民1人当りの経費(円)	221	245	市民1人当りの経費(円)	251			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 神奈川県弁護士会

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	各種相談において、一定の充足率を保っていることから、当面は現状維持のまま取り組み、相談件数が著しく増加又は低下する場合には、拡大又は縮小していく。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	生活上の諸問題について、相談できる機会や場を設けることは生活の安定と向上のためには必要不可欠である。今後も市民のニーズを汲み取り必要な対応をしていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	相談内容が複雑多様化していること、行政では解決できない民事に関する問題が増えているため、行政が実施する相談事業の果たす役割は重要になってくる。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	広報、ホームページ、ツイッターなどを利用して、行政相談の制度及び相談窓口の周知を継続して行った。また、制度改正や市に関する情報があつた場合に、課内周知を図り職員間で情報を共有した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	相談事業は、社会の複雑化に伴い、相談内容が行政とは直接関係のない相談も多く寄せられるため、職員には幅広い知識が要求される。そのため、自己研鑽や研修などを通じ、引き続き職員の知識習得、スキルアップを図っていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較)

比較事項	上段:法律相談件数(平成27年度)、下段:人口(平成28年4月1日現在)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
他市実績	1,257	826	1,141	238	912	271	
	172,638	403,657	425,314	193,515	239,552	56,549	

比較事項	上段:法律相談実施日(「P」は午後のみ)、下段:人口(平成28年4月1日現在) ※水、金、第2火、第4火、第3木、第1火(夜間)、第3火(夜間)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	
他市実績	※	月(P)、水(P)、金(P)	火、水、木	水(P)	火、木	火	
	172,638	403,657	425,314	193,515	239,552	56,549	

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市と比較して、夜間の法律相談を行うなど相談時間が幅広いこと、市民1人に対する法律相談件数の割合が高いことから、多種多様化する相談に対応できる状態である。各市の法律相談件数を各市の人口で除することにより算出した人口一人当たりの利用割合については、本市は0.73%であり、近隣市に比較し最も高い割合となっている。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	法律相談の充足率	単位	%	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市民ニーズがどのくらいあるのかを把握するため。	目標値	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0	87.0
	実績値	86.0	79.0				
	達成率	98.9%	90.8%				

指標の内容	登記相談の充足率	単位	%	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市民ニーズがどのくらいあるのかを把握するため。	目標値	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0
	実績値	81.0	69.0				
	達成率	94.2%	80.2%				

指標の内容	税務相談の充足率	単位	%	指標の傾向	↗	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
市民ニーズがどのくらいあるのかを把握するため。	目標値	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0	89.0
	実績値	91.0	96.0				
	達成率	102.2%	107.9%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	税務相談の充足率が上昇した要因として、相続税法が平成27年に改正されたことが挙げられる。
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--